

2025年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	高知ハビリテリングセンター	はるのハビリホーム
サービス種別	障害者支援施設	共同生活援助
所在地	高知市春野町内ノ谷 63-6	
開催日時	2025年11月18日(火) 13:00~15:45	
開催場所	はるのハビリホーム 2階会議室	
出席者 (計15名)	高知ハビリテリングセンター入所者 1名 はるのハビリホーム入居者 1名 高知ハビリテリングセンター入所者家族 1名 はるのハビリホーム入居者家族 1名 地域の関係者 1名 福祉に知見のある人 1名 経営に知見のある人 1名 高知市障がい福祉課職員 1名 高知ハビリテリングセンター職員 1名 はるのハビリホーム職員 1名 管理者(センター長・部長) 3名 サービス管理責任者(生活訓練・就労継続支援B型) 2名	
議題内容	(1) 地域連携推進会議の目的 (2) 出席者紹介 (3) 利用者2名より当センターでの生活について説明 (4) 施設見学(2グループに分かれてラウンド) (施設入所/生活介護/自立訓練/就労継続支援B型 /はるのハビリホーム) 全事業の見学 (5) 施設運営状況に関する説明 2024年度事業報告をもとに説明 ・事業報告総括 ・災害対策委員会の取り組み(BCP策定状況含) ・虐待防止委員会の取り組み ・身体拘束適正化委員会の取り組み ・ご意見と苦情に関する報告(第三者委員への相談内容含) ・地域交流委員会の取り組み ・栄養委員会の取り組み(2024年度食事アンケート結果) ・事故報告 ・経営状況報告(2024年度決算書にて報告) (6) 利用者アンケート結果報告 アンケート期間:2025年10月16日~10月27日 回収率(施設入所100% はるのハビリホーム90.6%)	

【感想】

黒字転換されたというのは素晴らしいことだと思います。やはり綺麗事ではなく、続くためにはどうしてもその部分できていないといけないので、それがされたということは本当にまず何が何でも一番だと思います。

【利用者要望】

ご飯がもっと美味しくなればいいかな。

⇒食事のアンケートで皆さんに書いていただいた生の声を食事に反映できることを大事にしています。

⇒体制のことで言うと今までは管理栄養士 1 名でした。その職員が今産休・育休で休みになっています。栄養士が不在になることは施設として食の提供の質が落ちるので、新たに 1 名の栄養士を臨時ではなく採用という形にしました。育休職員が復帰した時には管理栄養士 2 名で皆さんの食事が充実するように努力していきたいと思います。

【質問 1】

利用者アンケート結果の中で特定の利用者に対する職員の口調が気になるという内容に関して、対応策は上層部の方だけで話し合ったのか、それとも虐待防止委員会などで検討しているのか教えてください。

⇒サービス管理責任者の会議でこのアンケートの取りまとめをさせてもらったので、サービス管理責任者及び上層部でまず読み取りをしました。このアンケートについては先日とったばかりで方向性を検討している段階です。今後は虐待防止委員会での検討もしくは利用事業の職員間で対応を検討するという 2 つの方向で考えていきます。

【質問 2】

職場の人間関係ですけど、センター長に気軽に相談できるような環境ですか。

⇒センター長がすぐに直接職員と面談はしていません。部長、主任、サビ管という役職があるので、困りごとや自分が今こんな悩みがあるということは身近な誰かに相談してもらいそこから話を上にあげてもらって部長で解決できることはそこでしてもらっています。もちろんセンター長が最初に出なければいけないところは対応しています。

⇒管理職がそれぞれ理学療法士、作業療法士、看護師経験者で、特にうち 2 名は精神領域の経験があるため職場のメンタルヘルス、体調不良はキャッチしやすいと思っています。病院受診するべきなのか、少し休みをとるべきなのか相談をしつつ、オーバーワークになっているなら業務整理を行い、退職後の職場復帰はどうしたらいいかを専門職に近い立場で提案してフォローしてくれていると感じています。

【質問 3】

他の地域連携会議に行ったときになかなか世話人さんの研修ができていないと聞いています。そういったところをどのようにしていますか。

⇒月に 1 回世話人さんに集まってもらい世話人会を開催しています。参加率も高くほとんどの世話人さんが参加してくれています。そこで世話人業務の困りごとの共有や利用者の支援方法の共有、注意事項の共有をしています。また、世話人さん同士勤務が重ならない方もいるので世話人専用の情報共有ノートを作成して業務の伝達に活用しています。法定

<推進委員より>
見学の感想と質問

研修にも世話人さんは必ず参加してもらっており、当日参加できなかった人には後日ビデオ受講してもらうようにもしています。

【質問4】

事故報告の件数は分かりましたが、事故に至らないヒヤリハットの状況を教えてください。

⇒ヒヤリハットはほとんど出てきていない状況です。本来であれば事故につながりそうなことを事前に見つけたときに出すのがヒヤリハットなのですが、その周知ができていないのが正直なところです。

【質問5】

たくさんの事業がありますが、情報の共有に何かシステムを使っていますか。

⇒職員の普段の情報交換や伝達は PHS という電話機を使用して個別に行っています。また顔を合わせて情報の共有をすることを大事にしています。朝は出勤している職員が集まって夜間や朝の出来事を全職員に報告しています。夕方にも同じようにその日1日の特記事項を全職員が共有するようにしています。さらに細かな情報は部署ごとに集まり詳しい情報共有をするようにしています。また、休み明けで朝礼などの情報がわかるよう共有のパソコンに報告した内容を残して休み明けにその情報を見るようにしています。あとは支援で困ったことがあると事例検討ではなく「作戦会議」しようと言ってみんなで集まり対応を協議しています。そこには部長も入り初動から一緒に取り組んでいます。

【感想】

うちは弟が利用させてもらっていてとても感謝しています。次の生活場所を考えなければならぬ段階でセンター長からもう少し利用してもらおうという言葉をいただけて今も利用ができています。センター長は私たち家族の顔や名前も覚えてくれていて施設の風通しが悪いわけがないというのは私の意見です。

【感想】

私も感謝しかありません。息子が去年の3月に車同士の交通事故にあいました。警察から連絡があつて病院に行ったときにチューブだらけで死んでもおかしくないかなと思っていました。病院で手術を頑張ってもらって一命を取り留めて、転院してリハビリを続けているときに、これからどうなるのだろうと将来が不安だったのですが病院から高知ハビリテーリングセンターという施設があることを教えてもらって利用することになりました。はじめは機能訓練を利用して6月から生活訓練に今お世話になっています。こちらを利用開始した時はまだ車椅子メインで杖を使いながら歩いていたのが、今は普通に歩けるようになりました。ここまでにしてもらって感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

【感想】

学校を卒業後に高知ハビリテーリングセンターの利用を開始した生徒が、当初の予定より早めに利用終了しなければならなくなったときに、すぐに報告をいただいて本人・家族を学校ともう一度繋ぎなおしてくれ、地域や次の事業との繋ぎ合わせも取り持ってもらい

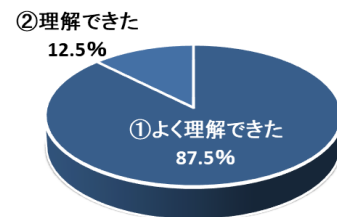
ました。この会でもマイナスなことも出してくれているのが間違いないことだと思います。今後も地域の交流をもち一緒に高めあえたらと思います。

地域連携推進会議 当日アンケート結果

参加者数	8名
アンケート回収数	8名

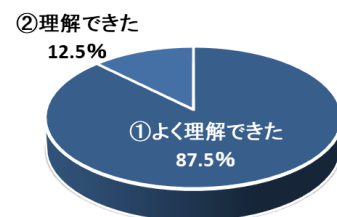
1. 利用者が当センターでどのような生活を送っているか理解できましたか？

①よく理解できた	7名
②理解できた	1名
③あまり理解できなかった	0名
④全く理解できなかった	0名
⑤無回答	0名



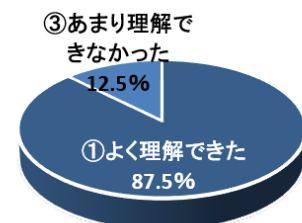
2. どのような障害をもっている方が利用しているか理解できましたか？

①よく理解できた	7名
②理解できた	1名
③あまり理解できなかった	0名
④全く理解できなかった	0名
⑤無回答	0名



3. 施設入所やグループホームの役割や支援の内容が理解できましたか？

①よく理解できた	7名
②理解できた	0名
③あまり理解できなかった	1名
④全く理解できなかった	0名
⑤無回答	0名



4. 職員の態度や働きについて、気付いたことがありましたらご記入ください

- ・お会いする皆さんが丁寧な対応をされていて、日々のアプローチの大切さを改めて感じました。大変気持ちよかったです。
- ・利用者の方に適切な距離感で関わられていると感じました。

<推進委員>
アンケート結果

5. 当センターの運営に関して、気付いたことがありましたらご記入ください

- ・ないようがむずかしかった。
- ・様々な取り組みを行われており、変わる、変えるがすすんでおられ感銘を受けました。
- ・苦情申し出箱が4か所あるのは把握しましたが、直接施設側へ声を上げられない方もいると思います。苦情申し出の第三者機関を明示してはどうでしょうか？

6. 今回の会議に参加されて、感じたことやご意見などご記入ください

- ・長く聞くことがないのでいいたいけんができました。
- ・参考になることが沢山ありました。ありがとうございました。
- ・運営の「実」が高まっていることが、経営上の黒字転換にもつながっているのでは、と感じました。
- ・ハビリさんを通して様々な方のご意見を伺う機会をいただきました。今後ともよろしくお願ひ致します。